

教科（科目）	国語（文学国語）	単位数	4単位	学年（コース）	選択
使用教科書	『新 文学国語』（三省堂）				
副教材等	なし				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指すとともに、情景や心情を表す語句の量を増やすことを目指します。
- ② 文章を的確に読み取る力を養い、作品の解釈を深めることで、多角的なもの見方を身につけさせることを目指します。
- ③ さらにそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させようとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行う。		
知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させようとしている。
以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、表現の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物の内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	発想と感覚 文学の言葉を感じ取る	B (10)	「二十億光年の孤独」 「虹の雌雄」	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 ・積極的に授業に参加し、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	a b c	ノート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認) 振り返りシート (記述の確認)
4 5	読みの深まり 解釈の多様性を楽しむ	B (14)	「予感」 「雉始雌」	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。 ・積極的に授業に参加し、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート

5	表現プラザ1 みんなであつな ぐりレー小説	A (10)	冒頭書き出し例集	<ul style="list-style-type: none"> 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫すること。 グループで同じ題材を書き継いで一つの作品をつくるなど、共同で作品制作に取り組む活動を積極的に行おうとしている。 	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
5 6	人間の姿と心 心情の表現に 読みひたる	B (10)	「デューク」	<ul style="list-style-type: none"> 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 積極的に授業に参加し、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
6	前期中間考査				a b	ペーパーテスト (記述の分析)
7	作品の挑戦 作家のストラ テジーを読み 解く	B (10)	「少年という名前の メカ」	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。 積極的に授業に参加し、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
7	表現プラザ2 想像からの語 り	A (10)	心情の語り方を工夫 する 「未知へ」 「夕焼け」 「売炭翁」	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすること。 登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して書き換え、その際に工夫したことなどを話し合ったり、文章にまとめたりといった活動を積極的に行おうとしている。 	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
9	意味と解釈 表現の意味を 捉え直す	B (18)	「こころ」	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 積極的に授業に参加し、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
9	前期期末考査				a b	ペーパーテスト (記述の分析)
10	近代の創造 近代の文章に 価値を見いだ す	B (10)	「永訣の朝」 「たけくらべ」	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察すること。 積極的に授業に参加し、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
10	表現プラザ4 誘惑する書評	A (10)	「たけくらべ」の書評	<ul style="list-style-type: none"> 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 好きな本を選んで書評を書き、相互評価によって文章をより向上させようとしている。 	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
11	後期中間考査				a b	ペーパーテスト (記述の分析)
12	想像と創造 文学の想像力 を捉える	B (10)	「月火水木金土日」	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 積極的に授業に参加し、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート

12	作品の変貌 言語文化の可能性を追求する	B (10)	「竹取物語—かぐや姫の昇天」	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・積極的に授業に参加し、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
1	作品の変貌 言語文化の可能性を追求する	B (18)	「ピクニックの準備」 映画 「夜のピクニック」	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇や映画の作品と基になった作品とを比較して、批評文や紹介文などをまとめること。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ・積極的に授業に参加し、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
2	後期期末考査				a b	ペーパーテスト (記述の分析)

計 140 時間 (50 分授業)

※領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「書くこと」 30 時間	B 「読むこと」 110 時間
-----------------	-------------------	--------------------

6 課題・提出物等

- ・各单元ごとに漢字や語句の基礎テストも行います。
- ・单元ごとに振り返りシートを記入し、提出することになります。休業中の課題は、別途指示します。

7 担当者からの一言

「文学国語」は、社会生活に必要な国語の知識を身に付けるだけでなく、広く文学作品を読むことを通して、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす科目です。授業では、言葉を適切に用いて自らの考えを示したり、他者へ伝えたりし、お互いの考えが深まるように主体的に学びましょう。また、生涯にわたって読書に親しむ姿勢を養いましょう。